

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

日韓関係と新型コロナウイルス感染症の 影響下で結ばれた「ご縁」



島根県商工労働部観光振興課 岡 詩織

日韓関係が大きく変化した1年目

海外旅行は大好きでしたが、「近いし、いつでも行けるよね」と一度も訪問したことがなかった韓国。いざ渡韓した後も、ソウルと派遣元である島根県を気ままに行き来しながら最初の半年を過ごしました。

それが許されなくなったのが、日韓関係の影響を受けて、米子ーソウル便が運休となった2019年秋。両国の関係が悪化したことで、日本にいる知人からは「こんな時期に韓国で暮らしていて、大丈夫?」と気遣ってもらいましたが、同じ事務所で働く韓国人スタッフや、東京本部で親しくなった日本在住の韓国人の友人に聞くと、彼らも周囲から同じように「日本人から差別的な扱いを受けてない?」と心配されていたようです。

実際には、お互いそのような体験をしたことはほぼなく、国同士の関係や報道で取り上げられる一部の例が、必ずしも個人の日常生活にそのまま結び付くわけではないことを実感した出来事でした。そういったセンシティブな話題も共有し、笑い話にさえできる韓国人の友人が持てたことは、クリアで得た財産の1つだと思っています。

新型コロナウイルス感染症対策下で 過ごした2年目

その後、冬以降は新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、いよいよ国を越えた往来はもちろん、韓国国内でも自由に動くことが難しくなりました。

ちょうどその頃出会ったのが、同じく駐在員として行政機関や民間企業からソウルに派遣されていた友人たちです。旅行にも行けず、チムジルバンやレジャー施設も閉まり、飲み会もなくなっていたその時期、余暇を一緒に過ごす相手と同じマンション内や近隣にいたことで、コロナ禍なりの楽しみを見出すことができました。

漢江でのピクニックや登山といったアウトドアレジャーに始まり、やがて新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、韓国内であれば旅行もできるようになりました。済州島や鬱陵島へ出かけてみたり、普段は知り合えないようなメディア関係者などが集うホームパーティに呼んでいただいたり、様々な経験のきっかけを友人たちからもらいました。



駐在員仲間と済州島で

先につながる「ご縁」へ

大学卒業後すぐに地方公務員として働き始めた私にとって、クリア派遣は新鮮な出会いに恵まれる好機となりました。帰国後に島根県へ遊びに来てくれた方も多く、現所属の観光振興課で働く上での励みにもなっています。

波乱に富んだ情勢での派遣となりましたが、その時期をともに過ごした人たちとのご縁は、一層貴重なものを感じられます。今後もこの交流を大切にして、知り合った方々と島根県とのご縁につなげていければと思います。

プロフィール・ほか

2018年～2019年 クリア東京本部総務部企画調査課
2019年～2021年 クリアソウル事務所
2021年～ 島根県商工労働部観光振興課